

中小企業の業況は、やや改善傾向にある。

山口商工会議所では、管内中小企業98社を対象に景況調査を実施し、このほど平成25年7～9月期の実績と平成25年10～12月期見通しについての調査結果（回答率87%）をまとめた。本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

前年同月比の今期（平成25年7～9月）の業況DI値を集計したところ、業況判断DIはマイナスで推移しているものの、上向きの動きが前回からさらに加速している。

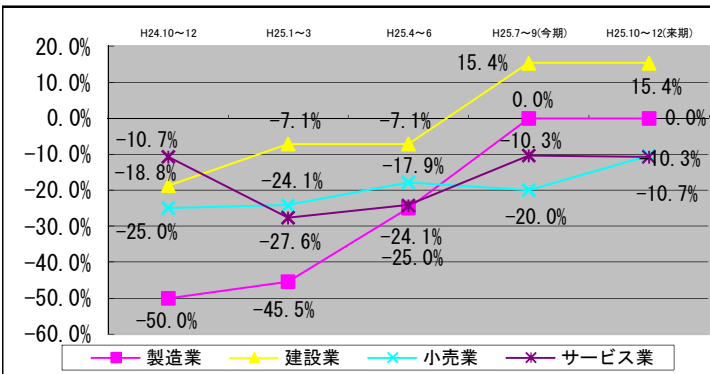
全業種のDI値に見る業況判断動向は、製造業：▲25%→0%、サービス業：▲24%→▲10%と改善傾向が継続し、建設業については▲7%→15%とプラスに転じた。製造業、建設業では、その他複数の項目でDI値が前回のマイナスからプラスに転じている。

前回の調査時点では、今期に新規設備投資を計画する見通しは全体の19%であったが、今期に実際に設備投資を行ったのは全体の17%であった。来期に設備投資を計画する見通しである企業は17%で、新規設備投資への動きは鈍化傾向にある。経営上の問題点については、従前より上位にある需要の停滞は今期も解消されていない。

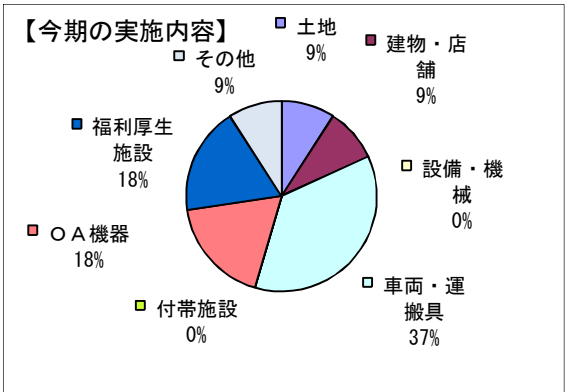
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-11%	↗	-12%	↗	-11%	↗	27%	↗	-20%	↗	-1%	↗
製造業	0%	↗	9%	↗	0%	↗	36%	↗	-9%	↗	-10%	→
建設業	15%	↗	15%	↗	-23%	↘	31%	↗	-15%	↗	-8%	↘
小売業	-20%	↘	-27%	↘	-20%	↗	23%	↗	-33%	↘	4%	↗
サービス業	-10%	↗	-10%	↗	4%	↗	22%	↗	-11%	↘	0%	→

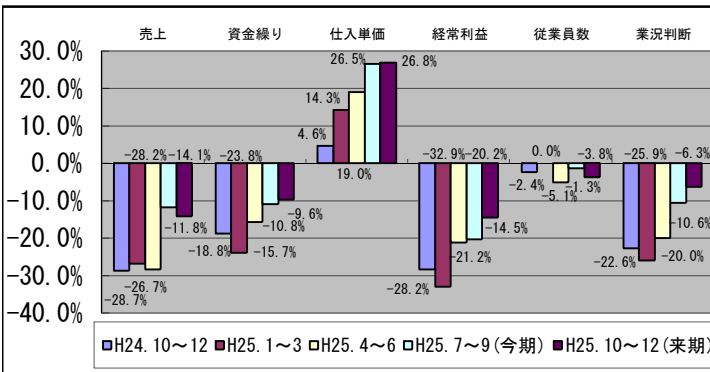
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



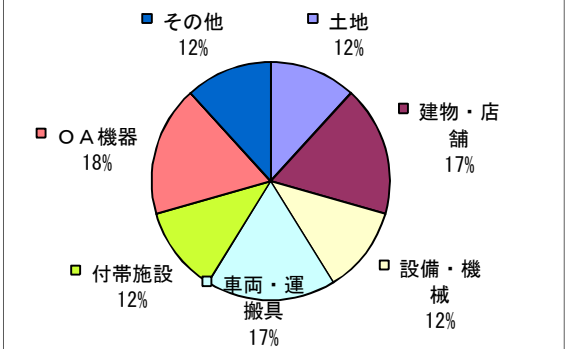
◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期の実施計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇、需要の停滞 20.7%	民間需要の停滞 25.0%	需要の停滞 20.3%	需要の停滞 15.9%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難 17.2%	官公需要の停滞 18.8%	消費者ニーズの変化への対応 14.9%	利用者ニーズの 14.3%
3位	生産設備の不足・老朽化 13.8%	新規参入業者の増加 12.5%	購買力の他地域への流出 10.8%	新規参入業者の増加、人件費以外の経費の増加、材料等仕入 7.9%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。